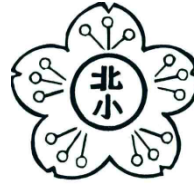


北小物語2018



平成30年 5月29日
 平戸市立田平北小学校
 学校便りNo. (17)
 校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いい顔』『いい声』『いい心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第17話：「北っ子の体力を考える！～体力・運動能力調査から～」の巻 ☆☆☆



北っ子の体力を考える！

運動会が終わった後も「運動」「運動」「運動」！
 好天が続いた先週。北小では、子どもたちの体力、運動能力を把握するための「体力テスト」を全学年で実施しました。今回調査した種目は「ソフトボール投げ」「上体起こし」「反復横とび」「長座体前屈」「50メートル走」の5種目です。(他3種目は授業の時間に実施)
 調査にあたっては、本校教育活動の特色のひとつである「縦割り班」を組織し、6年生が下級生のメンバーにやり方を教えたり、記録のお世話をしたりと、積極的にリードする姿が見られました。

さて、北っ子たちの体力・運動能力は・・・？



☆☆

【参考】平成29年度 長崎県小学校5年生の体力・運動能力調査平均値

小学5年生	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラッソ	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
	男子	16.18kg	19.35 回	31.46cm	41.38 点	54.26 回	9.36 秒	149.91cm	23.32m
女子	15.83kg	18.24 回	35.89cm	39.78 点	44.30 回	9.62 秒	143.09cm	14.42m	

現在の子どもたちは「転びやすくなった」「持久力がない」「バランスが悪い」などと言われてます。この「体力テスト」は、子どもたちの体力が年々低下している状況に鑑み、国が全国的な子どもたちの体力の状況を把握・分析するために始められました。分析の結果から、子どもたちの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る取組が進められています。体育の授業改善もその一つです。

昨年度の北小の子どもたちの「体力テスト」の結果から、次のような特色があることが分かりました。

- 50m走、長座体前屈、反復横とびで記録の向上が見られる学年が多かった。
- 全体的に握力、持久力、投げる力が低く、本校児童の体力の課題となっている。
- 高学年になるにつれ、習い事などのために運動する時間が減少傾向にある。
- 高学年になると、保護者のタブレット利用などで、動画閲覧サイトを見ている児童が増えている。



子どもたちの体力の向上は、日頃の「生活習慣」や「食習慣」、「運動の習慣」等に密接にかかわっています。本校の子どもたちは、その多くが社会体育に加入し、「運動の習慣」を身につけているようですが、何と云っても、日頃からの徒歩通学の積み重ねや戶外遊びの活動こそが、子どもたちの体力をしっかりと伸ばします。体力は健康の土台です。健康は人生の宝です。「生活習慣」や「食習慣」の見直しを図り、北っ子の体力を高めていきましょう。

今回の調査結果は、2学期ごろ個別に示されます。お子様の体力・運動能力の現状を知り、ご家庭でもお子様の体力向上のための方策と手立て等（体力向上計画）を立て、実行していただけたらと思います。2年後には世界の体力・運動能力がしのぎを削る夢の舞台「東京オリンピック」開催です。

